

ポイント制の創設について

SAJ 技術・運営委員会委員長
西川 亮

ジャンプ競技における国内のポイント制については数年前から関係者の中でその必要性について意見が出されておりましたが、実現されずに今日に至っております。

FIS においてはワールドランキングによって各ワールドカップ、世界選手権、オリンピックなどのスタンディングに用いられポイント制はすでに確立されているところであります。

国内ジャンプ競技のポイント制を創設するにあたりさまざまな問題点をクリアする必要性があり、十分に検討した上でジャンプ関係者が共通の認識のもと実施していく必要があると考えております。

ポイント制のメリットとしては

- ・獲得したポイントによってシードが容易になる。
- ・スタート順が明確で公平性が増す。
- ・選手選考の判断材料になる。
- ・ポイント獲得のため地方大会への参加が増す。
- ・上位入賞の名誉だけでなく、ポイント獲得が後の大会に影響するなど継続性、連続性が出てくる。
- ・選手・コーチの明確な目標になる。

以上のことがあげられると考えております。

また、検討事項として

- ・高校生、中学生が対象の大会(インターハイ、高校選抜、全国中学)の扱い。
- ・組別のスタートゲートが違う場合の取扱い
- ・海外派遣選手の扱い

などが上げられますが、この点につきましては要項第3条及び第5条、細則第4条などのおり一定の結論が出ております。

今後は各大会の組織委員会が適切に競技結果を SAJ 及び関係者に送信することが義務づけられ、ポイント管理の重要性が増すこととなります。

いずれにしても、選手・コーチはもとより全ジャンプ関係者がポイント制に

ついでのこだわりを持ち推進させていくことが重要であり、このことによって競争が増長され、ひいては競技力の向上につながることを期待するものであります。

なお、今シーズンはテスト期間であります。競技結果については要項に記載のとおり SAJ データバンク及び SAJ ルール・コントロール専門委員会委員長あてにメールしてください。

すべての結果を集約し来年春に検証したいと考えております。